



# 東京園芸ニュース (28年度-87号)

平成29年1月 / 群馬県東京園芸情報センター

## 地域の歴史や文化を受け継いだ伝統野菜を紹介 大田市場で奈良県の大和野菜をPR!

奈良県の大和野菜「大和まな」の試食宣伝会

- 期間：1月20日(金)
- 場所：大田市場 東京青果(株)
- 主催：奈良県
- 内容：奈良県の大和野菜の紹介や「大和まな」の試食宣伝等

### 20種類の伝統野菜と5種類のこだわり野菜!

奈良県認定の大和野菜は、「大和の伝統野菜」(戦前から奈良県で生産が確認されており、味・香り・形態・来歴などに特徴をもつ20種類の野菜)と「大和のこだわり野菜」(栽培や収穫出荷に手間をかけたオリジナルの5種類の野菜)の総称です。

今回は大和野菜を代表する「大和まな」の試食宣伝会に、奈良県のマスコットキャラクター「せんとかん」がかけつけて、奈良県職員と一緒に市場関係者にPRを行いました。

### 新品種育成で品質改善!

試食で用いられた「大和まな」は、漬け菜の一種で、見た目はこまつ菜に似ていますが、葉の切れ込みが大きく、他の漬け菜にはない甘みと独特のうまみの特徴だそうです。しかし、形質の不ぞろいや下葉が黄化しやすい等の問題があったため、平成21年に奈良県農業総合研究センターとナント種苗(株)等が共同で、夏場でも黄化しにくく揃いの良い「F1大和まな」を育成したため、冬季だけでなく周年栽培ができるようになったそうです。ナント種苗(株)は、「大和まな」の他にも大和伝統野菜シリーズとして7種類を販売しています。

買参人の方でも大和野菜について知らない人もおり、奈良県の職員がリーフレットやレシピを渡して熱心に説明していました。



買参人に大和野菜を紹介



大和野菜：大和まな(左)  
と片平あかね(右)



奈良県のマスコット  
キャラクター「せんとかん」



試食宣伝の様子



試食品：「大和まな」の煮浸し